

1. 調査報告概要表

作成日 2008年12月10日

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|----------------------|------|------------------|
| 事業所番号 | 1592300030 | | |
| 法人名 | 有限会社ソワン | | |
| 事業所名 | グループホームそわん | | |
| 所在地 (電話番号) | 新潟県 魚沼市 井口新田 950 - 2 | (電話) | 025 - 792 - 6912 |
| 評価機関名 | MMC総合コンサルティング 株式会社 | | |
| 所在地 | 新潟県 上越市 富岡 3446 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年11月17日 | | |

【情報提供票より】(20年10月1日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------|---------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成18年12月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 10 人 | 常勤 5 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 7 人 | |

(2)建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | | |
| | 3 階建ての | 2 階 ~ | 3 階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|----------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 36,300 円 | その他の経費(月額) | 15,000 円 | |
| 敷 金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 300 円 |
| | 夕食 | 300 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | 円 | |

(4)利用者の概要(11月20日現在)

| | | | | | | |
|-------|-----|--------|-----|------|-----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 1 名 | 女性 | 8 名 | |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 2 名 | | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 1 名 | | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | | |
| 年齢 | 平均 | 86.6 歳 | 最低 | 79 歳 | 最高 | 99 歳 |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 上村医院・かねもと医院・佐藤歯科医院 |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周辺地域にはスーパーやレストランなどがあり、一方で周辺に畑や田んぼが広がり、ホームの窓からは近くの山々が見えるとても閑静な環境にあります。
代表者が掲げたホームの理念である『笑顔で安心一緒に暮らそう。あなたと私ずっと家族だよ』の言葉通り、明るく雰囲気豊かな、職員と利用者は方言をまじえながら活き活きとしている姿が感じられました。
今後も今まで以上に職員研修に力を入れるという代表者の言葉通り、サービスの向上が期待できるホームです。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の調査の際に課題となった『理念の浸透』・『地域とのつき合い』・『職員を育てる取り組み』・『マニュアルの整備』等については、管理者を中心に職員全員で取り組まれており改善されていました。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 職員全員で自己評価票を記入し、その中で取り組むべき視点や自分たちに不足の部分が見えたという感想を持っており、積極的に評価の結果をケアに活かそうという姿勢が確認できました。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | 運営推進会議は2か月に1回開催しており、民生委員や近隣の住民、市担当者や地域包括支援センター職員から出席してもらっています。会議で頂いた意見はしっかり受け止めて向上するように努力しています。市町村との関わりについては、市の担当者と管理者とがいつでも気軽に相談しあえる関係にあります。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 開設時に家族会を立ち上げ、意見をいただけるよう努力しています。苦情などは寄せられていませんが、玄関にご意見箱も設置し家族の要望を実際に活かしています。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| 重点項目 | 代表者の自宅があった場所のため、代表者が培ってきた地域との関わりを引き継いでおり、町内会にも加入し、近所との交流はスムーズに行われています。地域の行事に参加したり、中学生や地域ボランティアさんのボランティアの受け入れなども行い、交流の範囲を広げています。 |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組みを期待したい項目 (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 1. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 開設時に職員全員で誰が見ても理解できて、気持ちに通う思いを職員の意見を取り入れて理念に決め、掲示しています。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員は理念を理解しており、常に意識しながら業務にあたっています。運営者は日常的にホームへ出向き、家族の立場で職員にケアのあり方や理念の実現に向けて話をしており、職員が理念に立ち返る機会となっています。 | | |
| 2-2 | 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | わかりやすい言葉で玄関や各フロアに掲示しており、利用者・家族にも自然と理解されています。特に入居者の理解が進んでおり、職員も日々の会話に盛り込むなど、理念の浸透に努めています。また、地域ケア会議の場や、その他交流の場に参加したときにはアピールするように努力しています。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 代表者の自宅があった場所のため、代表者が培ってきた地域との関わりを引き継いでおり、町内会にも加入し、近所との交流はスムーズに行われています。地域の行事に参加したり、中学生や地域ボランティアさんのボランティアの受け入れなども行い、交流の範囲を広げています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員全員で自己評価票を記入し、その中で取り組むべき視点や自分たちに不足の部分が見えたという感想を持っており、積極的に評価の結果をケアに活かそうという姿勢が確認できました。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組みを期待したい項目 (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|---------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2か月に1回開催しており、民生委員や近隣の住民、市担当者や地域包括支援センター職員から出席してもらっています。会議で頂いた意見はしっかり受け止めて向上するように努力しています。 | | |
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 出来るだけ市に出かける機会を作り担当者の声を聞くように努力しています。市の担当者からはいつもアドバイス頂きありがたく思っており、いつでも気軽に相談しあえる関係にあります。 | | |
| 6-2 | 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 管理者・職員は、グループホームの密室性が虐待につながる可能性をよく理解しており、マニュアルを整備し、虐待防止に関する内部研修を行なって、防止に取り組んでいます。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 写真入りの便りと金銭出納帳の写し、及びその月の個々の様子をお知らせする職員手書きの手紙を請求書を送付する際に同封して、きめ細かく報告がなされています。また入居者に変化があった時や相談のあるときは電話や来訪を促すなどして、様子をお知らせしています。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 開設時に家族会を立ち上げ、意見をいただけるよう努力しています。苦情などは寄せられていませんが、玄関にご意見箱も設置し家族の要望を実際に活かしています。 | | |
| 8-2 | 16 | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月1回全職員参加で行うケア会議に、代表者・管理者も参加し、職員の意見を聞いています。また、業務改善提案書の提出を職員に呼びかけたり、改善を提案する職員を中心に職員間で話し合い、管理者に意向や希望を伝えるなど様々な意見提言のシステムを整えています。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 開設から9月までは離職者もなく安定してたが、今月いっぱいまで常勤職員が2名、夜勤職員1名が個人都合で退職しました。新規職員も決まったので、入居者には不安を与えないよう実習などで関わっていただいています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組みを期待したい項目 (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| 9-2 | 18-2 | マニュアルの整備 サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。 | 業務マニュアル、事故防止マニュアル、見取りに関するマニュアルなどが整備され、各フロアに置かれています。感染症対応マニュアルとインフルエンザやノロウイルスといった感染症に関するマニュアルに関しても前年の評価を受け改善されております。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修には必要時、適切な職員が参加できるようにしています。また研修会、講習会、関係資格などの情報を職員に提供し、参加希望のあるときは勤務変更等を行なって最大限配慮しています。 | | 今までより内部体制が改善されていると思いますので、今後はより計画的に研修が実施されることを期待します。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 魚沼地域全体のグループホーム連絡会に参加し、年1回ではありますが地域のGH職員の交流と研修の場に希望者からは参加してもらっています。全国グループホーム協会にも加入しています。 | | |
| 11-2 | 21 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 管理者は出来る限り話し合いをし、声を聞くようにすることで職員間の問題など把握するように努め、ストレスが発散できるように声かけなどしています。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居を希望する本人や家族の見学を受け入れており、本人の自宅へ事前面接に伺って情報収集することもあります。居宅のケアマネや家族と話し合いながら、どうしてもこれだけはと言う所を盛り込んで、その他は生活に必要な支援を行いながら本人が出来るだけ早く馴染めるように工夫しています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 調理や掃除など、利用者個々の能力や得意なことを活かしてそれぞれに活躍できる場面があります。調理に困ったときに助けてもらったり、山菜採りや山菜の下ごしらえの方法を、利用者から教わっています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組みを期待したい項目 (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 13-2 | 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 家族の面会は多く、情報交換は密に行われています。日頃からよく家族とコミュニケーションが取れており、一緒に支えあうことができるよう関係づくりに努めています。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 散歩に出かけたい方、自宅へ行きたい方、畑をしたい方、本人が話してくれたり、訴えてくる希望にそえるように日々の生活の中で聞こえてくる会話なども耳を傾けて把握できるようにしています。 | | |
| 14-2 | 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前面接の際に家族や本人に聞きながら情報を集めたり、入居前のケアマネに教えていただいたり、面会に来ていただいた友人から教えてもらったりと努力しています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 月1回のケア会議の際にカンファレンスを行い、職員全員の気付きやアイデアを活かして介護計画を作成しています。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月に1回、モニタリング、評価を行い定期的に見直しを行っています。また、利用者の状況に応じて柔軟に見直しを行なっています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 主治医への受診は職員が付き添い、それ以外の受診についても本人・家族の状況に応じて職員が付き添っています。また地域の認知症を抱える家族から相談を受けて、地域権利擁護事業や成年後見制度の情報提供も行ないました。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組みを期待したい項目 (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|----------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時に協力医受診は無料ですが、それ以外への受診は原則的に家族が対応または1回の受診に付き3000円負担いただくことを説明し、希望があれば協力医への主治医の変更も可能であることを説明しています。現在は内科についてはほぼ協力医への受診となっており適切に支援されています。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 運営者は、ターミナルまで支援することを前提としたホームであることを、利用者・家族・職員に伝え、看取りの指針やマニュアルを整備しています。また、ホームでできること、できないことを明確に示し、利用者の状態に応じてその都度話し合いを行っています。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | トイレ誘導や口元を拭う介助などはさり気なく行われており、利用者のプライバシーを守る姿勢がうかがえます。記録なども所定の場所に保管し必要時に取り出すようにしています。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 外出や入浴時間、作業など利用者それぞれの希望を聞きながら最大限実現できるように努力しています。畑を生きがいにしている方、縫い物の得意な方など、それぞれの特技や好みを活かしてその人らしく生活できるよう支援しています。 | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員や家族が利用者と共に食事しており、とても暖かい雰囲気を感じました。調理や味付け、後片付けなどに利用者が参加する場面もあります。また、畑担当の利用者の取ってきた野菜が食卓に並び、自然と会話が弾んでいました。 | | |
| 22-2 | 56 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 一人ひとりに合わせた適切な誘導、支援をしており、ホーム入居後尿意を取り戻し、おむつの外れた方もおられます。職員のさり気ない見守りや声かけで気持ちよくできています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組みを期待したい項目 (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日入浴は可能な状態になっており、入りたい方には毎日でも入ってもらっています。しかし、声かけだけでは何日も入りたがらない方もいるので、入浴表でも予定を組んで対応しています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者個々の能力、したいことの把握に努め、畑や山菜採り、縫い物作業や調理など、多彩な役割、楽しみごとの場面を提供しています。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 2日に1回程度、近くのスーパーに食材の買物に出かけています。また天気の良い日の散歩や行楽シーズンの小旅行も実施しています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 25-2 | 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束はしないと職員全員で確認しています。職員は声かけから見守りにおいても気配りをしながら、拘束しないように努めています。 | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関にセンサーマットを敷き、外来者や利用者の外出を察知できるよう工夫しており、日中玄関の施錠は行っていません。またセンサーの音も小さく、外来者が頻繁に訪れてもうるさくならないよう配慮されています。 | | |
| 26-2 | 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 事故防止マニュアルが整備されており、事故報告やヒヤリハット報告が作成され、対策も検討されています。 | | |
| 26-3 | 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 職員は消防署の普通救急救命士の講習を受けてその資格を取得しております。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 取り組みを期待したい項目 (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|--|---|----------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練を年2回実施し、運営推進会議に参加してもらっている近所の方々には非常時の際の協力を依頼しております。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 軟らかく煮たり、薄味にしたり主治医からの指示も考えながら食事づくりをしています。水分は不足しないように食事の時のほかに10:00と3:00にお茶の時間を設けたり、夜間は居室でも飲んでいただくようにペットボトルにお茶を冷まして届けています。トイレに起きた時など夜勤者が声かけでお茶を飲んでもらっています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 全体的に木材を取り入れた温かみのある内装になっており、飾られている写真や装飾品も家庭的です。食堂のテーブルも一般家庭と同様のものを使用しており、居心地のよいリビングになっています。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には、ベッドやテレビ、コタツなど、自宅から持ち込んでもらっています。また、ホームでの写真や家族の写真、カレンダーを飾るなどして、その人らしい部屋作りの工夫をしています。 | | |